

とは、各地方共同様であらうと思はれますが、道路は鐵道と相並んで陸上交通機關として重要な地位に居り、地方産業開發上等閑に附すべからざるものでありますから、國家百年の大計上地方財政の許す限り、益々之が助長發達に努めらるゝ様致し度いと思ひます。

財政緊縮の爲道路工事中の中止又は繰延すの

可否

都市農村の如何を問はず道路工事中

止又は繰延に對しては反對せざるを得

ず

財政の緊縮大ひに結構で、財政の基礎を鞏固にする爲め固より必要であります。之に關聯して目下工事中の道路の築造、修理に對して之を中止し或は繰延することに就ては一言なきを得ません。道路の修築は正に生産事業でありますから其他の不生産事業と同一に取扱はれては堪りません。道路の整備は産業の開發、國力充實の根本を爲すものであると考へます。故に中央、地方財政の整理緊縮には克く其事業の性質を考へて緩急を調節し鹽梅することを忘れてはならないと思ひます。其意味に於て都市、農村の如何を問はず道路工事中の

中止、繰延に對しては反對せざるを得ません、切に當局者の一考を煩し度いと思ひます。

小運送と道路問題

道路の修築、路面の改良を最も急務と

す

今日物價騰貴の一因が、運賃特に小運送賃の高價なるに基くものたることは一般の認める處であつて、小運送制度改善の急務が叫ばるゝ所以であります。

此の小運送制度の改善に就ては荷車、自動車、牛馬車等の運搬具の整備、運搬聯絡設備の完成、經營方法の改善等色々研究すべきこともありませんが、私は道路の修築、路面の改良を以て最も急務とするものであります。道路と小運送との關係が延て物價問題に重大なる影響あることを考へると、道路問題は一刻も忽にすべからざるものと考へます。

工學博士 近藤仙太郎

國の文化は其國の交通設備の狀態に伴ふ

一國の文化は其國の交通設備の狀態に伴ふ事今更喋々を要

せざる所にして、交通の難易は道路水路及鐵道の有無及良否に依る事明なり、而して水路及鐵道は其位置を限らるゝも道路は自由にも其用を果すのみならず、鐵道の停驛或は港灣の埠頭より需要供給の終局まで物資を送達す。

道路は時勢の進むに従ひ一般に希望し或は又必要とする状態に於て變化し、徒歩通行に適せば足れりとせしものも人車馬車の通行に差支なきを希望し、尙進んで今日の如く自動車の疾走に適するを必要とするに至れり。然るに我國道路の状態は幹線たる國道に於ても、或は勾配過急或は幅員狹隘又は屈曲急激にして、馬車の通行を妨げ且つ未だ大河にして橋梁の架設なきもの少なからず。我邦最も交通頻繁にして主要なる東海道筋に於てすら、其の法規に適する幅員、屈曲に至る事前途尙遼遠とす。故に一日も速に我産業發展、能率増進、農村救済等の爲適當に自動車の疾走し同時に互に行違ひ得る程度に改良するを必要とする所なり。

道路改良費豫算を全部削減するは産業發展農村救済を阻害す

此頃新聞紙の報道する所に依れば、大正十四年度に於ては政費節約の爲政府は從來採り來れる道路政策を變更し、道路

改良費豫算を全部削減する由なるが、之れ大に不可とす、何となれば、國運は靜止せずして進まざれば退く、而して日進月歩の時に當りて、右の如き必要なる道路工事の中止又は繰延は國運を退歩せしむるものにして、引續き前進の策を採らざるば、政費節約をなし財政を確固ならしめんとして反て、産業發展、農村救済等を阻害するの結果を得るに至るべし。

小池銀行頭取 小池 國三

農村救済策と道路問題

道路改良に相當重要な意味があると

信ずる

昨今農村振興問題が喧しく論議され、諸多の救済策が説かれて居るが、思ふに我國の如く、天然資源の乏い國柄では、何程商工業が發達した所で、結局急激に増殖する人口を無限に商工業都市に收容することは不可能であつて、海外移民又は農村改善に依て都市集中の傾向を矯め、可成多數を地方農村に收容せねばならぬことゝ信ずる。それには農民に田園的文化生活を営ましむる様にして遣ることも一の重要な方策と考へる、而して其方法として道路問題が必然的に考慮に上るの